

# 市報

# とす

## 今月の内容

CONTENTS

8月は同和問題啓発強調月間……… 2



- A L T 2人が退任……… 4
- 今村さん・楽団主幹として初の里帰り公演……… 6
- 市文化祭出品・出演者を募集……… 8
- 戦争と平和を考える映画上演会……… 10
- Gut's サガン鳥栖「高峯選手」……… 11
- 市職員・消防職員を募集……… 12



## 鳥栖山笠でいよいよ夏本番

鳥栖のまちに夏本番を告げる鳥栖山笠が7月20日・21日の2日間行われました。八坂神社を出発した子供山3基を含む9基の山車は、沿道から力水を浴びながら大勢の見物者が見守る中心商店街へ。力が入った「がぶり差し」などの山車技を披露し見物者を沸かせました。

# 8

平成9年 No. 835

# 1日号

# 差別を許さない社会の実現目指して

佐賀県では毎年八月を特に同和問題啓発強調月間と定め、同和問題の解決のための啓発事業を集中して実施しています。

同和問題はご存じのとおり、生まれや出身がただ同和地区というだけで、就職や結婚などで差別を受けるといって、重大な人権にかかわる問題です。本人には何の責任も理由もないのに、一方的に差別される、全く不合理な問題です。

ですから私たちは一刻も早く同和問題をはじめとするさまざまな差別をなくすための学習を深め、人間の尊厳と自由と平等を回復することに努めなければなりません。同和教育は単に同和問題についての知識を

増やすためのものではありません。正しい知識のもとに認識を深め、自らの問題として意識し、あらゆる差別の解消へ積極的に行動ができることを目的としています。

簡単に言えば、差別はいけないと思うことからさらに一歩踏み出して、差別は絶対に許さないという行動を示すことにあります。

先日、県内のマスコミのトップによる差別発言がありました。その場所に多くの自治体の公務員がいたが、その発言を問題視する行動はありませんでした。公務員に対する研修が不十分であったことには、私たちも反省しなければなりません。

## 差別の現実に学ぶ

### 学ぶ

同和問題は私たちが自分のもので必ず解決しなければならぬものです。ですから今後とも同和教育は進めていかなければなりません。ここに結婚を約束した女性がいわれなき差別のため、

自ら命を絶つた事件の遺書を紹介します。

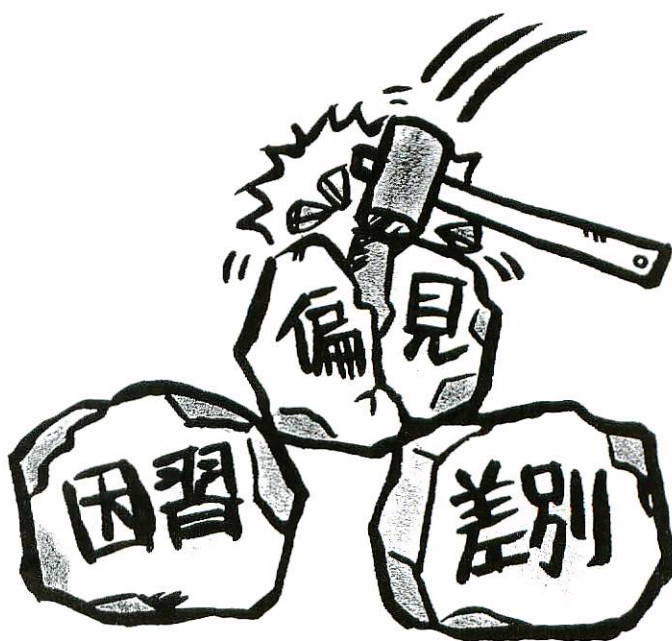
Aさんの遺書

貴方には私は今日までそうそうお世話になりました。実は私は部落の人間です。私はかくしとおせるのならば死ぬまでかくしたい。だから徳島へ一緒に帰るのがいいやで、貴方と一緒に帰りませんでした。

通りませんでした。十日前から私は二人の間はもうだめだと思いきらめていました。この十日間私は最後の人生だと思って楽しんでいました。貴方も家には帰らずに、私の所に帰って来てくれる。私は毎日今日は帰ってくれるか、もしかしたら家から電話があり、家に帰ったのところがうか、そればかりが、貴方が

「ただいま」と帰ってくるまで心配でなりません。でも貴方は、この十日間ちゃんと私の所へ帰ってきてくれました。私は何もいらないうただあなた、私のそばにいてくれるだけで幸福でした。

十七の時に知り合って二十の時まで三年間、本当にやさしい恋人だったと思います。でも、これ以上私がいるといつまで立っても貴方は幸福になれません。どうかこの次、女性を愛する時は、健康で家柄の良いお母さんに気に入ってもらえる人をお嫁さんにして下さい。お幸福に



(原文のまま。佐賀県教育委員会編「社会同和教育指導資料集」より)

死を賭けた言葉が、痛いほど胸に突き刺さるのを感じてほしい。

同和問題を考える場合、このような具体的な事実に基づいて考えるという姿勢が大切です。しかし、「差別されてかわいそうだ」とか「同和地区に生まれなくてよかった」などの同情論や安堵感が心の中に広がったときには、もう一度改めて深く考えてみてください。

これらの同情や安堵は差

# 8月は同和問題啓発強調月間

別する側からの考え方であり、差別される側に立てば、このような考え方は決して生まれません。「具体的事実に基づき考える」ということは、差別される人の心の痛みを分かろうとする姿勢そのものです。

## 子どもは社会の鏡

「しっかりと勉強しないと、あんな仕事にしかつけないよ」と、ある特定の職業を引き合いに出して、子どもを励ましたことはありませんか。勉強して成功してほしい、そんな親の気持ちもわかりませんが、こんな一言が、実は子どもに偏見と差別を植え付けているのです。

同じように同和問題も子どもの頃に親から誤ったことを教えられ、同和地区住民に偏見を持つようになった人も多いようです。

子どもは社会の鏡だといわれます。子どもを見ていれば、世間の風潮も見えてきます。大人社会の差別や偏見が、そのまま子どものいじめや仲間はずれとして反映されているのです。

そして、子どものことだからと放っておいては、偏見

と差別をそのまま持つて成長し、やがて親となったとき、その子どもに再び偏見と差別を植え付けてしまう悪循環ができてしまっています。子どもの社会は、そのまま大人社会の縮図であることを考え、偏見と差別の悪循環を断ち切るために、私たちが人は何をすべきなのか、おのずと見えてきます。

## 差別はあなた自身の問題

「私のまわりに差別はない。また私も差別はしていない。だから同和問題は私には関係ない。」このような声は数多く聞かれます。差別していいので同和問題をはじめとする差別事象には無関心、知らん顔といわんばかりです。

関係なければ放っておいていい問題でしょうか。

例えば、溺れて助けを求めている人を見つめました。あなたは見知らぬ他人だからと放っておけますか。人の命があなた自身の行動にかかっているのです。おそらく自分ができる範囲で助けようと最善の努力をしましょう。もし、見知らぬふりで通り過ぎたら、あなたは社会から非難

され、さらに自分自身の良心にもさいなまれるでしょう。

前にも述べましたが、同和問題は本人には何の責任もない理由で差別され、人の命まで奪ってしまうものです。差別されている人は、助けを求めています。人間として、そして同じ社会に生きるものとして、このような不合理な差別を許せるのか、そして、どうすれば差別されている人を助けることができるのか、まさしくあなた自身にかかわる問題なのです。

## 誰もが幸せになるために

人は自分ひとりでの社会で生きていくことはできません。

幸せな社会とはどのようなものでしょう。自分が幸せだと感じるためには、自分だけでなく、自分のまわりも、そしてすべての人が幸せだと思える社会ではないでしょうか。

その一方で、いや、そんな社会は空想だ、絵空事に過ぎない、本来人間は不完全なものだ、だから差別はなくならない、と悲観的な考えをする人もあります。

人間が本当に不完全なら

ば、完全な存在へと努力を続けることこそ本当の人間の生き方ではないでしょうか。

私たちはすべての人が自由で平等で、人間の尊厳が大切にされる、そんな社会を実現させなければなりません。その手段が同和教育なのです。

今までの同和地区に対するイメージをまず白紙に戻し、素直な気持ちで、謙虚に

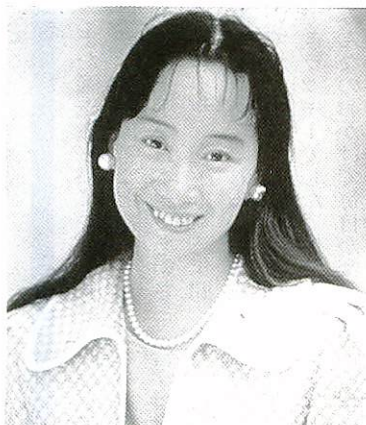
## ふれあい心のフェスタ'97

8月6日(水)午前9時から市民文化会館で

県では、八月六日(水)午前九時から鳥栖市民文化会館と中央公民館で、人権・同和問題啓発「ふれあい心のフェスタ'97」を開きます。

同フェスタは、明るく楽しい、誰もが気軽に参加できる催しを通して、多くの人が人権・同和問題にふれるきっかけをつくり、人権・同和問題に対する正しい理解をして

学びましょう。「同和問題はもういい」とか「同和問題は知っているから学習の必要はない」と門前払いするのではなく、「自分が持っている差別に対する考え方は本当に現実的で正しいものだろうか」と問い直してみてください。差別を怒り、許さない。知識から行動へ。同和教育はあなた自身の変容を期待しています。



講演予定のアグネス・チャンさん

ほか啓発映画の上映、パネル・資料展示、ふれあいバザーなど盛りだくさんな内容です。

問い合わせは  
県庁同和对策課  
(☎0952257063)へ。



中学校の英語教師から花束を受け取るスーザン先生（左）とアリサ先生

## 思い出残しALIT2人が退任 「鳥栖の人は私にとって特別な人」

ALIT（外国語指導助手）として市教育委員会から市内の中学校に派遣されていたスーザン・ヘンダーソン先生とアリサ・グレゴリー先生が七月いっぱいまで退任するため、同委員会が七月十七日、両先生の送別会を市役所会議室で

開きました。式では山下市長が「子供たちに生きた英語、特に話し言葉の教育に、それぞれの持ち味を生かして全力を注いでいただき感謝しています」とお礼を述べたあと、感謝状と花束が贈られました。

また両先生も集まった市職員や学校関係者など約六十人を前に上手な日本語であいさつ。スーザン先生は「三年間暮らした街を離れるのは寂しいです。山笠や盆踊りに参加できラッキーでした。生徒のみんなのおかげで毎日が楽しく面白かった。鳥栖の人たちは私にとって特別な人たちです」と言いつつ目頭を押さえました。アリサ先生

間は私の人生の中でも最も忘れられない一年になりました。習字はとても楽しかった。美しいこの国を旅行する機会もできました。ここでの思い出を大事にします」とお別れを言いました。二学期からは新たに米国とスコットランドから二人の男性ALITが赴任し、中学校で一年間授業をする予定です。

## 市社協がボランティア交流会 人形使って救急法学ぶ

市社会福祉協議会は、ボランティアとして同協議会に登

録している会員を対象に、ボランティアに関する情報提供

や基礎知識の習得、会員同士の情報交換などを目的に「ボランティア交流会」を七月十一日、社会福祉会館で開きました。交流会には、手話や点字、朗読などのボランティアをはじめ、各町区で声かけ訪問活動などのボランティアに携わる百七十一人が参加。精神科

医の立場から精神保健福祉センターの藤林武史所長が「心の病とボランティア」と題して講義したほか、佐賀市のボランティア団体「なわとびの会」の貞森紀子さんが体験談などを話しました。このあと、日本赤十字救急指導員の指導で事故などに遭遇した場合の応急手当の

仕方について実技が行われ、参加者は毛布を代用しての担架の作り方、人形を使っての人工呼吸や気道確保、心マッサージの仕方、止血法などを熱心に学びました。



心マッサージなどの救急法を学ぶ参加者

約800人の来場者があった企画展



## イムズビルで「鳥栖・中原の技」展 伝統的地場産品などPR

県東部地域観光振興協会（一市五町三村、会長・山下市長）が鳥栖市と中原町の伝統的な地場産品や観光をP

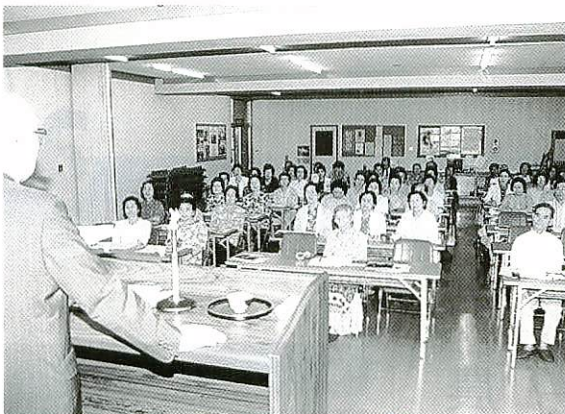
Rしようとして七月十二日、福岡市天神・イムズビル七階の佐賀情報センターで「鳥栖・中原の技」展を開きました。

鳥栖からは「中央軒」のシウマイや（株）クリエイトの押し花作品、魚運坊窯・松尾次郎さんの陶芸作品、窪田農機具製作所・窪田靖夫さんの包丁と鎌、江藤桶角樽店・江藤春治さんの角樽、高尾一夫さんの竹細工作品が展示されたほか、鳥栖のみつり

や観光も紹介され、一日で約八百人が来場。展示作品の前で足を止め、作品やパネルなどに記入していました。佐賀情報センターは福岡への情報発信基地として県が昨年開設。観光から歴史、食まで、佐賀のさまざまな情報を提供しています。

## 市立図書館でパソコン初心者教室 参加者は画面とにらめっこ

パソコン初心者教室が七月十三日午前と午後の二回にわたって市立図書館で開かれ、



六十歳代の男性と三、四十代の主婦を中心に各十五人が参加しました。

一人ひとりにデスクトップ型またはノート型のパソコンが準備され、パソコンの種類や用語、電源



講師の説明に耳を傾けながらパソコンの操作に熱中する参加者

の入れ方など基本的なものから、簡単な画面上での操作の仕方、日本語入力などの方法

を学習。参加者はNTT九州・法人営業本部の若松栄一さんの説明に耳を傾けながら、

真剣な顔つきで画面とにらめっこしていました。

参加者の一人、田代外町の城本幹夫さん（65歳）は「趣味で栽培している花の写真を記録しておきたいと、最近パソコンを買い、本を見ながらやっていたがなかなか操作がわからなくて。やはり実際に聞くのでは随分違います。できればこうした講座を続けてやってもらいたいですね」。また養父町の平初美さ

さん（39歳）は「パソコンを買いたいと思っています。パソコンブームで、特にインターネットをしてみたいと思って参加しました。ちょっとまだピンときませんが、これを機会に勉強したい」と言っており、また熱心に画面に向かっていました。

なお、同二十七日には参加者はNTT鳥栖営業所を訪れインターネットの体験もしました。

## 市長を講師に高齢者・女性学級 市の現状や将来計画を説明

鳥栖公民館が主催する高齢者・女性学級が七月十五日、同公民館で開かれました。

今回は、山下市長が講師を務め「人づくりとまちづくり」

と題して講演し、これまで進めてきた事業やプロサッカークロウド水道・環境の問題、これからの市政への取り組みなどについて説明。

出席した約七十人の受講者はメモをとったり、うなずいたりしながら熱心に市長の話

## 児童らの事故未然防止へ 関係者集まり通学路を総点検

全国で児童生徒の事件・事故が増加していることから市教育委員会が七月九日、小中学校通学路の点検パトロールを行いました。

山下市長、柴田教育長をはじめ、警察・学校・市関係各課から約二十五人が参加。国道三号と三四号が分岐する永吉交差点や、田代昌町の高速道路高架下のトンネル、曽根崎交差点、本鳥栖町の地下道

など五か所を重点にパトロールしました。

永吉交差点では「歩道が狭くて危険」などの意見が出されたほか、トンネルや地下道では電灯が切れていたり、割られていたりしており「日中でもかなり暗い」、「壁を白く塗ればもう少し明るくなるのでは」などの指摘がありました。

今回のパトロールに先立ち、各小中学校で交通状況や施設面、防犯面から校区内の点検を実施。歩道や信号機、側溝、路地裏など十一校から六十七か所の注意・危険箇所が市教委に報告されました。

市では今回の点検結果を踏まえ、対応できるものから順次改善をしていくことにしています。



高速道路の高架下のトンネルでは電灯のつけ替えなども検討された

## 楽団主幹として初の里帰り公演

今村 晃さん (53歳、埼玉県越谷市)

「みなさんには本当のオーケストラの響き、迫力を味わってほしいですね」

楽団主幹として東京都交響楽団(都響) 団員約百人を



引き連れ、今日八月一日、市民文化会館で里帰り公演を果たします。

昭和十九年東町に生まれ、鳥栖小・鳥栖中学校を経て、

## 農業 新時代

◁75▷

「廃園地でポットを利用し緑化樹を育成。今秋から本格出荷へ」

高田町の松隈邦博さん(42歳)は造園業のかたわら、平成六年から七年にかけて立石町のミカン園の跡地約一・三haを整地し、共同で緑化樹を育成しています。苗木はクス、ヤマモモ、カシなど十九

種、約一万二千五百本で、すべてポット植え。

ポットは、細かい穴が無数にある「ルートコントロール」と底に四つの穴があいた「ポリポット」の二種類で、用土は土壌改良材のピートモ

## あんひと こんひと

⑥0

「いつか郷里で公演をしたいと思っていたので感無量です。子供のころは家にピアノがなかったもので、雨の日も風の日も毎日楽譜を背負って東町の自宅から幸津町の陶山

明善高校から東京芸術大学音楽学部に進学。卒業と同時にコントラバス奏者として、都響に入団し、二十六歳からは主席奏者に。昭和六十年には楽団の運営・管理の最高責任者である主幹に就任。演奏曲目の選定から音楽監督や首席奏者の人選に至るまで都響の改革に取り組み、日本屈指のオーケストラに育て上げました。

「おっけい」と思いますが、もつと気楽にリラックスして聞いてもらえれば」

午後七時。始まりを告げるブザーとともに、指揮者がタクトを振り下ろす瞬間をじっと待ちます。

じをつこうがいいと思いましたが、もつと気楽にリラックスして聞いてもらえれば」

午後七時。始まりを告げるブザーとともに、指揮者がタクトを振り下ろす瞬間をじっと待ちます。

「オーケストラだといっただけではありませんか。声を出したりさえずらなければ足を組もうがひ

「オーケストラだといっただけではありませんか。声を出したりさえずらなければ足を組もうがひ



緑化樹のポット栽培に取り組む松隈さん

植えは「植え付け時期や出荷時期の調整」「樹形が揃う」「掘り取りが容易」など数々のメリットがあり

植えは「植え付け時期や出荷時期の調整」「樹形が揃う」「掘り取りが容易」など数々のメリットがあり

ストとパーライトを混合したものと現地の土を交互に重ね使用しています。

露地植えと異なり、ポット

油粕を主とする有機質と化学肥料を年に三回与え、炭疽病予防の殺菌剤を中心に六

## 市役所 三まぶ

⑤2 総務部企画課広報統計係 榎原 聖二



広報統計係は市報や市勢要覧、市外向けグラフ誌の発行を担当するほか、五年に一回の国勢調査をはじめ事業所や商業者などを対象にした各種の統計調査を行っています。これからも市民のみなさんに親しまれる広報誌づくりに努めていきますので、取材や調査の際はみなさんのご協力をお願いいたします。

「大臣の誕生日」

前佐賀県知事の故香月熊雄さんには、県議会議員時代はもとより市長就任後も大変お世話になった。企業誘致活動や国への陳情等々である。残念ながら故人となられたが、香月さんと二人三脚で誘致に成功した企業もいま市内において抜群の雇用や財政効果をあげて貰っている。なお国への陳情の中で忘れ難いことがある。それは運輸省が提唱し

た「物流ネットワークシティ構想」への取り組みである。香月さんと協議をし、将来の物流構造を考えた場合、鳥栖市こそトップで指定を受けるべき要件をかなえているとして、国への陳情を計画、知事市長同道の上京となった。幸い佐賀県選出衆参両国会議員団の応援も受けて、大型陳情団が佐藤信二運輸大臣を訪れたのは平成元年二月八日であ

った。ところで佐藤信二さんは、父上の故佐藤栄作元総理が、国鉄の鳥栖運輸事務所長として着任された翌年の昭和七年二月八日国鉄官舎で誕生の鳥栖生まれ。私は上京前に元町の原口裕君から、大臣出生のとき助産婦さんの世話などこまめに手伝わられた吉田トクさん(当時八十一歳)のはなしを聞き、陳情の日が偶然にも

大臣にとって五十七歳の誕生日であることを知った。知事と共に物流ネットワークシティに関する強力な陳情を行ったあとで、私は大臣に誕生日のお祝いを申し上げ、吉田トクさんに託された手紙と菓子を渡し、是非一度鳥栖市を訪ねて貰いたいとお願いした。それは大臣を辞任された後実現するがそのとき官舎の跡も案内、もちろん「信ち

やん、信ちゃん」と呼ばれる吉田さんも同行され、なつかしい昔ばなしに花が咲いた。佐藤さんは今、通産大臣という要職につかれています。省庁の枠を越えた「鳥栖物流」への支援を求めているところであり、出来れば香月県政を継承された井本知事と共に、再び鳥栖生まれの佐藤さんへの陳情を実現したいとひそかに考えている。(山下)



「8位入賞を目指す」と飛松さんと飛松さん  
所属し、千五百mと三千mでは県大会で常に三本の指に入る実力。高校に入学した昨年の夏は足を故障。疲労骨

「大会などで自己新のタイムを出した時は最高にうれ

とが好きだった飛松さんは、田代中学校時代から陸上部に

Viva!ビバスポーツ 72  
インタハイ陸上に出場  
目標は自己記録の更新

鳥栖工業高校二年の飛松誠さん(16歳、神辺町)が八月三日から京都で開かれる全国高校総体(インタハイ)に陸上競技五千mと三千m障害の二種目に出場します。小さい時から走るこ

折寸前の状態で約一週間は他の部員と別メニューの練習を強いられました。「走れなかったのはつらかったです。休んでみんなに遅れた分を取り返すには倍以上の練習をしないと...」現在は毎日朝夕約二十kmのランニングのほか、ラストスパートに弱いのを克服するため腹筋や背筋などの筋力トレーニングを欠かしません。「全国大会では五千mで八位入賞、自己記録の14分30秒を切るのが目標です」指導に当たる古川昌道監督も「スタミナは抜群。精神的にも強い子で、八位以内に入る可能性も大きいと思います。未完成な部分が多く、これからが楽しみな選手です」と話しています。

会社で見つけた 吉わやかさん (52)

(株)ユー・エス・エス九州は平成元年七月、今泉町に設立。市内にオークション会場二か所を持ち、主に九州一円から集まる中古車の「せり」を行っていています。社員は五十二人。「せり」はコンピュータで行い、私は車種、年式、金額などの入力やオークション当日のアナ

ウンスを担当。入社四年目ですが、お客様相手の仕事なので言葉づかいは気をつけています。スポーツは見るのもするの大好き。特に、スノーボードが好きで、冬には山陰のスキー場まで足を延ばしています。サガン鳥栖は頑張っていて、ぜひ優勝してほしいですね。



(株)ユー・エス・エス九州勤務  
山津 純子さん  
(22歳、神辺町)

保健

ポリオワクチンの任意予防接種

昭和五十年から五十二年にかけて生まれた人は、ポリオの免疫を保有している割合が他の年齢層に比べて低いことが、厚生省の調査で分かりました。このため、この期間に生まれた人は再度、ポリオワクチンの予防接種を受けることをお勧めします。希望により抗体検査実施後に予防接種を受けることもできます。なお、抗体を有している人が予防接種を受けても副反応の発生率が高くなることはありません。

また、昭和五十年、五十二年生まれの人以外も予防接種を受けることができます。これは法律に基づくものではなく任意接種ですので、金額

自己負担になります。予防接種を実施する医療機関は次のとおり。日時など詳しくは直接、医療機関へお尋ねください。

- ◆石田医院(古賀町☎2722)▽上野内科(田代外町☎2315)▽権藤医院(田代上町☎2978)▽すがい小児科(神辺町☎7020)▽武田内科医院(村田町☎1011)▽野田内科(西田町☎160)▽ひよし小児科(宿町☎2677)▽佐賀県立病院好生館(佐賀市☎9522)2171

母と子の健康講演会

民生委員・児童委員協議会と保健センターでは「今が大事!母と子のきずな」をテーマに母と子の健康講演会を開きます。

子どもは周囲の環境や人々のふれあいによって成長します。日ごろ育児や家事に追

パパ撮っし(103)



今村信行さん美穂子さんの二男

すけ 亮 くん (1歳・萱方町)

ママから言ひと好きお兄ちゃんが大お仲良育つて

われているみなさん、ちょっとと休みして一緒に考えてみませんか。

とき●九月五日(金)午後一時半~同三時

ところ●保健センター

講師●聖マリア病院副院長・橋本武夫氏

申し込み●保健センター(☎3650)へ

募集

市文化祭出品・出演者

十一月二日(日)から同九日(日)までの日程で開かれる「第三十六回鳥栖市文化祭」への出品作品・出演者を募集します。

参加資格●市内に居住する方または市内で活動している文化団体に所属している方(展示部門は小・中学生を除く)

内容●舞台部門●舞踏・謡曲・吟詠・民謡・邦楽・バレエ・ダンス・音楽など▽展示部門●絵画・写真・手芸・華道・書・俳句・短歌・工芸・盆栽・蘭・文化財・情報紙など▽催し●開会式・文化講演会・合同茶会・川柳大会

出品・出演料●出品料(一人二点まで)●一点につき五百円▽団体(二人以上)●一万

申し込み●八月十三日までに「第三十六回鳥栖市文化祭実行委員会」事務局(市民文化会館内☎3645)へ

一輪車初心者教室

とき●八月十六日(土)十八日(月)と二十日(水)から二十三日(土)までの六日間、午後二時~同四時

ところ●児童センター(社会福祉会館内)

対象●小学生(先着二十人で締め切ります)

参加料●無料。ただし、保険料四百円。用具はセンターで用意します

申し込み●社会福祉会館(☎3616)へ

「体験作文」と「障害者の日のポスター」

総理府障害者施策推進本部では「心の輪を広げる体験作文」と「障害者の日のポスター」を募集しています。

◆心の輪を広げる体験作文 テーマ●出合い、ふれあい、心の輪——学校・職場・地域での体験を広げよう(題名は自由)

応募資格●小学生以上(盲・聾・養護学校の児童生徒を含む)

規格●原則として四百字詰

原稿用紙(B4判縦書き)を用い、小・中学生は二~四枚程度、高校・一般は五~八枚程度

障害者の日のポスター

◆障害者に対する理解を深め、障害者と健常者の相互理解を促進するもの

応募資格●小・中学生(盲・聾・養護学校の児童生徒を含む)

規格●画用紙B3判を使用し、彩色、画材は自由。作品は縦長を原則。中学生部門は障害者への理解を促進する標語を必ず入れること。

作文、ポスターいずれも別紙に住所、氏名(ふりがな)、生年月日(年齢)、性別、電話番号、学校名(学年)、障害の有無を記入のうえ、九月一日までに福祉事務所社会係(☎3552)へ

'97筑後川わくわく体験バスツアー

筑後川や近隣河川の関係施設を見学したり、河川に関するクイズ、ゲームで楽しむバスツアーの参加者を募集します。

とき●九月十三日(土)午前八時集合、午後五時解散

ところ●西鉄久留米駅前集合

定員●四百人(二百組)、応募者多数の場合は抽選

参加料●無料(弁当持参)

申し込み●はがきに①代表者の氏名・年齢(学年)・性別・住所・電話番号②もう一人の氏名・年齢(学年)・性別③希望する集合場所④と記入④このツアーの情報源「市報とす」と記入を明記のうえ、八月二十九日(必着)までに建設局筑後川工事事務所「筑後川わくわく体験バスツアー係」(〒830久留米市高野町三二一☎339131)へ

県営住宅入居者

鳥栖土木事務所では、県営住宅の入居申し込みを随時受け付けています。六月末の空き家状況は次のとおり。詳しくは同事務所建築課(☎4176)へ。

宿町●一種十四戸2DK

▽鳥栖南部●一種八戸3DK・3LK▽麓●一種二戸2DK▽神辺●一種一戸2LK

▽古賀●一種七戸3K・3DK▽鎗田●一種一戸2DK▽曾根崎●二種二戸3DK

県文学賞作品

県文化団体協議会では「第三十五回佐賀県文学賞」の作



## 催し

品を募集します。  
応募資格●職業作家を除く県内在住者(県内に通学・通勤する者を含む)  
応募作品●小説(戯曲を含む)・随筆・詩(民謡・童謡などの歌詞を含む)・短歌・俳句・川柳の六部門

受付期間●八月一日から同二十九日まで(所定の応募票を添えて県文化団体協議会「佐賀県文学賞」係(県庁文化課内〒840170・住所不要 ☎0952257230)へ)

## 福祉

### 福祉入門教室

市社会福祉協議会では、身近な福祉問題を取り上げる福祉入門教室を開きます。

とき●八月二十日(水)同二十七日(水)、午後七時～同九時

ところ●社会福祉会館

定員●五十人

内容●講話「ボランティアとは」「社会福祉の現状と住民参加による地域福祉」、ビデオ上映「やさしさのまちが好き」など

申し込み●八月十九日までに市社会福祉協議会(☎853455)へ

入場料●一般五百円、高校生以下三百円

### 鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

■第四回講座「福岡方面の戦国の城探訪」

とき●八月二十四日(日)

午前八時半

ところ●市役所前駐車場出発

参加料●五千円(バス・昼食・資料代を含みます)

定員●三十人

申し込み●鳥栖歴史研究会・内野(市教育委員会社会教育課内☎853695)へ。定員になり次第締め切ります。なお、当日は動きやすい服装でご参加ください

お問い合わせ●市子どもクラブ連絡協議会(教育委員会社会教育課内☎853694)

対象●市内の小・中学生とその保護者

問い合わせ●市子どもクラブ連絡協議会(教育委員会社会教育課内☎853694)

夏休み家族映画会

文化振興財団では、宮沢賢治生誕百年を記念して作られた「わが心の銀河鉄道——宮沢賢治物語」を上映します。詳しくは同財団(☎842121)へ。

とき●八月十日(日)午前十時、午後二時の二回上映

ところ●サンメッセ鳥栖大ホール

図書館8月のお話し会

毎週水曜日に行われる「お話し会」は、八月だけ時間が変わります。

▽幼児向け●午後二時から

▽児童向け●午後三時から

個人事業税の納付は8月11日から9月1日まで

個人事業税(第一期分)の納付は八月十一日から九月一日までです。

納付書は八月十日ごろ県税事務所から送付されます。最寄りの金融機関で忘れずに納めてください。

有害鳥獣(猪)駆除危険防止にご協力を

水稲などへの被害を防止するため、わなや銃器を使った猪の駆除が猟友会鳥栖支部により行われます。危険防止にご協力ください。

詳しくは農林課(☎853563)へ。

とき●八月十七日(日)から十月三十日(木)まで

ところ●市内山間山麓一帯

検察審査会

「交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に届けたが検察官がその事件を起訴しない」

そのような不満をお持ちの方のために、裁判所の中に検察審査会がおかれています。

お気軽に相談ください。相談や申し立ては一切無料で秘密厳守。詳しくは検察審査会(佐賀地方裁判所内☎095233161)へ。

旧軍人・軍属、遺族の方へ

戦傷病者・戦没者遺族の援護、旧軍人軍属の恩給、引揚者に関する事などについて、直接県の担当職員が相談をお受けします。詳しくは県福祉課(☎0952257058)へ。

とき●九月三日(水)午前十時～午後三時

ところ●市役所一階第一会議室

引揚者のみなさまへ

税関では、終戦の際、海外から引き揚げた方々からお預かりした通貨・証券などの返還業務を行っています。

まだ返還請求をされていない方は、長崎税関監視部(☎095888644)または三池税関支署(☎09440525)へお問い合わせください。

建設業退職金共済制度

建設業退職金共済制度は、建設労働者を対象に全国どこかの建設現場で働いても事業所に雇用された期間を通算して

退職金を支払うもので、建設労働者のための国の退職金制度です。

現在、全国で十四万八千の建設業者と二百七万人の労働者がこの制度に加入し、これまで八十四万人の方に総額三千二百四十七億円が支払われています。

加入手続きなど詳しくは、建退共佐賀支部(佐賀市内二二二三七☎09522778)へ。

サマーナイト

ペタンク大会

ルールは簡単、だれにでもできるニュースポーツです。星空の下で一緒に楽しみませんか。

とき●八月八日(金)午後六時

ところ●元町運動広場

募集チーム●二十歳以上の方一チーム二人で先着三十二チーム

参加料●一般一人三百円、協会会員一人二百円

申し込み●八月六日までに電話でペタンク協会事務局・緒方康弘(市生活環境課内☎853577)へ

## スポーツ

### サマーナイトペタンク大会

ルールは簡単、だれにでもできるニュースポーツです。星空の下で一緒に楽しみませんか。

とき●八月八日(金)午後六時

ところ●元町運動広場

募集チーム●二十歳以上の方一チーム二人で先着三十二チーム

参加料●一般一人三百円、協会会員一人二百円

申し込み●八月六日までに電話でペタンク協会事務局・緒方康弘(市生活環境課内☎853577)へ

## 給水装置工事主任技術者試験を実施

今まで市独自で行ってきた水道の責任技術者試験は、水道法の改正で今年度から国家試験になり、次のとおり行われます。

とき ●十月二十六日(日)  
ところ ●福岡市ほか七会場  
受験資格 ●給水工事に関して三年以上の実務経験を有する者

受験料 ●一万六千八百円  
受験手続き ●願書は現金書留に五百円を同封のうえ、財団法人給水工事技術振興財団試験研修部国家試験課(〒103-8569)へ請求し、八月十五日までに同課へ申し込んでください

## 「戦国の城と城下町」を無料配布

市教育委員会では、市民講座として「鳥栖の町づくりと歴史・文化講座」を平成元年から開講しています。

このほど「戦国の城と城下町」をテーマに平成八年度中に開いた十回の講座での成果や活動記録を紹介した冊子五百部を作成、市民のみなさんへ無料配布します。

この冊子はB5判全七十七ページ。四阿屋上流の城山麓一帯の勝尾城下町を中心に、戦国時代の城と城下町跡に焦点を当て、写真や図解を用いてわかりやすくまとめています。このほか、福岡市博物館学芸員の堀本一繁さんによる「肥前勝尾城主筑紫氏に関する基礎的考察」も紹介されています。

れています。市民のみなさんの郷土の歴史を学習する時の参考資料として、また今後の鳥栖地方における中世研究の資料としてご活用ください。

ご希望の方は同委員会社会教育課文化財係(☎695)へお問い合わせください。配布は残部がなくなり次第終了となります。

## 戦争と平和を考える映画上映会

市立図書館では八月十二日(火)から十五日(金)までの四日間、二階視聴覚室で「戦争と平和を考える映画上映会」を開きます。入場無料。上映作品は世界的な名作から

鳥栖を舞台にした「月光の夏」まで七本をラインナップ。ぜひ親子でおいでください。上映時間などは次のとおりです。詳しくは同館(☎630)へ。

作品名	上映日時
天と地	8月12日(火) 10:10~12:21
ナパロンの要塞	8月12日(火) 13:30~15:54
月光の夏	8月13日(水) 10:10~12:01 13:30~15:54
はだしのゲン3 ヒロシマのたたかい	8月14日(木) 10:10~12:18
武器よさらば	8月14日(木) 13:30~16:03
リリー・マルレーン	8月15日(金) 10:10~12:06
シンドラーのリスト	8月15日(金) 13:30~16:45

## お盆の業務案内

### ◆休日救急医療センター

休日救急医療センター(保健センター一階西側)は、八月十五日(金)の午前九時から午後九時まで診療を行います。同センターの電話番号は☎0119です。

### ◆ごみ収集

ごみ収集は平常どおり行います。

### ◆し尿汲みとり

八月十五日(金)から同十七日(日)まで休みます。

### ◆老人福祉センター

市内各老人センターは八月十三日(水)から同十六日(土)までの四日間、全館臨時休館します。

## 高齢者就職情報

高齢者就職相談室(市役所市民課横)では高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っており、現在、次の求人申し込みがあつています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。

- ◎営業員(中原町)：男20歳以上、12万~22万円
- ◎パート接客清掃(京町)：女30~60歳、時給650~700円
- ◎清掃員(高田町)：性別不問20~60歳、11万4千円
- ◎構内作業員(中原町)：性別不問20~60歳、11万6千~25万円
- ◎貨物運転士(中原町)：性別不問25~60歳、12万3千600~19万1000円
- ◎交通警察員(久留米市)：性別不問18~65歳、16万~18万円

## ■特定公共賃貸住宅

### 「日の出コーポ」入居者募集

所在地は久留米市日の出町。募集戸数は18戸でいずれも3LDK(71.7㎡)。家賃は80,000円(月収により減額があります)。申込期間は8月11日~20日。詳しくは久留米市役所建設部住宅課(☎9086)へ。

## ■コンピュータよろず相談会

毎月第2水曜日午後2時~4時、商工会議所相談室。あなたはパソコンをうまく活用していますか。商工会議所では、パソコンの使い方がよくわからない方のために「コンピュータよろず相談会」を設けました。相談無料。詳しくは同会議所(☎33121)へ。

## ■放送大学福岡地域学習センター学生募集

放送大学福岡地域学習センターでは、今年度第2学期(10月入学)の学生を募集します。種類は1年間の選科履修生と半年間の科目履修生。応募資格は18歳以上(今年10月1日現在)で、福岡地域学習センターでビデオテープ、オーディオテープを視聴できる方。入学願書の受け付けは8月15日まで。募集要項など詳しくは、同センター(福岡市東区箱崎・九州大学内☎092-651-4952)へ。

## ■第44回市軟式野球夏季大会代表者会議(C級)

8月8日(金)午後6時、市役所3階大会議室。夏季大会の組み合わせ抽選(C級のみ)を行います。大会参加料8,000円をご持参ください。

## ■鳥栖市秋季ソフトボール大会代表者会議

8月23日(土)午後6時、鳥栖北公民館。当日は大会参加料6,000円をご持参ください。



ゴールを死守！高崎選手



今回は守護神としてサガン鳥栖のゴールを守る高崎理貴選手にインタビューしました。

高崎選手は福岡県直方市出身の二十七歳。サッカーを始めたのは、中学校に入ってからで、ほかの選手に比べると少し遅め。中学では、ほかの生徒より少し背が大きいということとゴールキーパーに。それ以来、ゴールキーパー一筋。高校は北九州市の北筑高校に進み、県選抜メンバーとして国体にも出場しました。

その後日体大からフューチャーズに入団。この時は、どうしてもプロとしてサッカーを続けたい、九州のチームでプレーしたいという気持ちで強く、鳥栖に本拠地移転の話が出ていたフューチャーズに直接、監督に電話をかけて直談判しました。「しばらく練習に参加してやっとなんか認めてもらいました。押しかけ入団みたいなもんですね」。

兄弟はお姉さんとの二人姉弟。直方市には祖父、両親も健在で、時々スタジアムにも応援にみえます。高崎選手の方は現在、三田川町のアパート

一人住まい。「食事は昼は自分で焼きめしを作ったり。外で食べるときは近くの定食屋やうどん屋に行くんですけど、そこのおばちゃんが頑張ってるって、大盛りにしてくれたり、具をたくさん入れてくれるんですよ」。

また高崎選手は犬の動物好き。「休日はペットショップに出かけて犬とかを見てはかわいいなああと独り言を言ってます。ウインドショッピングも好きで、家の近くなどで週一回は必ず上峰サティに行きます。見かけたら気軽に声をかけてください」。

試合で好セーブで何度もゴールを守守する姿はみなさんご承知のこと。「試合中は集中力がとぎれないように、また全体を見渡して早めに指示を出すように気をつけています。ホームの試合はみんなの動きが全然違いますね。サポーターのみなさんに助けられてチームも動き出したし、みなさんの思いに込められるように勝っていききたいですね」。

試合中のガッツあふれるプレーからは想像もつかないほどの優しい純粋な好青年です。

前回は、家臣には現在鳥栖にある姓が記されています。井上、緒方、小田、大石など現在でも鳥栖に多い姓ではないでしょうか。また大曲などは特徴的な姓で、やはり鳥栖にもあります。

# 中世山城と筑紫氏

Vol.62 筑紫家臣団 その二

注目されるのは牛原という姓で、現在鳥栖には牛原という姓はありません。しかし、牛原という地名があるように、当時牛原を本拠とする家臣がいたことをうかがわせます。なお、牛原という姓は現在熊本県山鹿市にあります。山鹿には肥後細川藩に仕えた筑紫氏の領地があり、山鹿在住の牛原氏

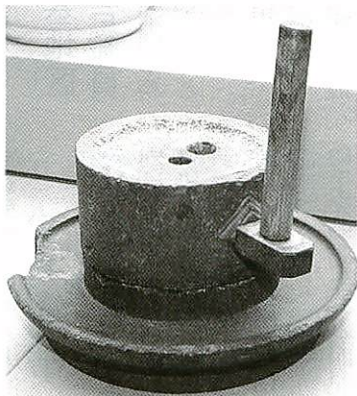
は先祖をたどれば、鳥栖から筑紫氏に付き従った牛原氏の子孫の可能性が高いものと思われれます。以下、引き続き家臣を紹介します。

大津留多左衛門、方江与右衛門、方保田源兵衛、方保田市丞、香月傳左衛門、金子四兵衛、金屋清右衛門（少式一門・山田助左衛門、城戸九右衛門、城戸仁左衛門、城戸八兵衛、城戸甚左衛門、城戸久七、北三吉、君六三右衛門、木嶋作兵衛、木村双左衛門、木村惣左衛門、清原弥太郎、元矢部七郎、左衛門家来）清原安兵衛、木原加兵衛。



筑紫家臣・城戸氏が本拠を置いた基山町城戸

これら名字のうち注目されることは、城戸姓が多いことです。現在基山町に城戸という地名がありますが、城戸氏はそこを本拠とした家臣だったと思われる。なお、城戸氏は後に、豊後日出の木下家に仕えたことが分かっています。



生薬を粉末状にするのに用いられた挽き臼（中富くすり博物館収蔵）

に使用されました。写真のものの外形は、直径三五cm、高さ二〇cmです。「石臼」というと写真のような二枚の円柱形の石を組み合わせた「挽き臼」と餅などをつくときの「つき臼」があります。が、田代では製薬用の石製の挽き臼を「ヒキウス」と呼び、石製の

つき臼は単に「イシウス（石臼）」と呼んでいたようです。田代の薬屋さんは、戦前は個人経営が多かったため、製薬用の挽き臼はその家の家庭用の大豆挽きや抹茶挽き（二、三時間かかる）にも転用されていました。なお、くすり博物館収蔵品には小型の製薬用の「つき臼」（臼も杵も石製）もありますが、これは来月紹介する「乳鉢・乳棒」の一種だと考えられます。

ちよつと昔の民家では麦や大豆を挽くためによく使われた挽き臼ですが、田代配置売薬の薬屋さん（製造元）でも使われており、両手（双手）切りや薬研などで刻まれた生薬を細かく粉末状にするの

## 消えゆく民具

【売薬用具編】

VOL.90 ● 挽き臼

# 市職員・消防職員を募集

## 21世紀への行動力求めます。



### 鳥栖市職員

鳥栖市職員の採用試験を次のとおり行います。

職種・職務内容 ● 事務員A・事務員B・事務員C Ⅱ 一般行政の業務▽保健婦(土) Ⅱ 保健業務▽現業員 Ⅱ 本庁用務員

採用予定人員 ● いずれの職種も若干名

受験資格 ● 事務員A Ⅱ 昭和四十七年四月二日から同五十七年四月一日までに生まれた大学卒業業者または来年三月卒業見込みの者▽事務員B Ⅱ 昭和四十九年四月二日から同五十二年四月一日

までに生まれた短大卒業業者または来年三月卒業見込みの者

▽事務員C Ⅱ 昭和五十二年四月二日から同五十五年四月一日までに生まれた高校卒業業者または来年三月卒業見込みの者▽保健婦(土) Ⅱ 昭和四十五年四月二日以降に生まれた保健婦(土) 免許取得者または来年三月取得予定者▽現業員 Ⅱ 昭和三十七年四月二日以降に生まれ、鳥栖市内に住民登録を有する者

第一次試験 ● 九月二十一日(日) 午前九時半(教養試験)

第二次試験 ● 十一月初旬の予定(面接試験、作文など)

申込受付期間 ● 八月一日(金)から同二十五日(月)まで  
受験手続き ● 申込書、試験案内は市総務課職員係で交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書し、必ず百三十円切手を貼ったあて名明記の返信用封筒(A4サイズの入る大きさ)を同封してください

問い合わせ ● 市総務課職員係(〒841 鳥栖市宿町一

二 一八番地 ☎ 3504)

### 鳥栖・三養基地区消防事務組合職員

鳥栖・三養基地区消防事務組合職員の採用試験を次のとおり行います。

職種 ● 消防(消防吏員)

採用予定人員 ● 二人  
職務内容 ● 消防に関する一般事務と火災予防、火災鎮圧、人命救助、救急業務など

受験資格 ● 昭和四十九年四月二日から同五十五年四月一日までに生まれ、次の条件を満たしている者

(1) 鳥栖市、三養基郡内に採用後居住できる者 (2) 高校卒業以上の者(来年三月卒業見込み者を含む) (3) 普通自動車以上の自動車運転免許(オートマチック車限定を除く)を取得している者。ただし、十八歳未満の者は除く

が、十八歳に達したら早急に取得のこと (4) 身長百六十

cm以上、体重五十kg以上の者 (5) 両眼とも裸眼視力〇・三以上で色覚が正常なこと (6) 聴力が左右とも正常な

者

第一次試験 ● 九月二十一日(日) (筆記、体力試験)

第二次試験 ● 十月中旬(身体検査、適性検査、作文、面接試験)

申込受付期間 ● 八月十一日(月) から同二十九日(金)まで

受験手続き ● 申込書、試験案内は鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部で交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書し、必ず九十円切手を貼ったあて名明記の返信用封筒を同封してください

問い合わせ ● 同消防本部総務課(〒841 鳥栖市本町三丁目一四八八番地 ☎ 7994)

平和を願ひ黙とうを

市では、原爆死没者をはじめ戦争で亡くなった方々のご冥福と世界恒久の平和を願ひ、次の日時にサイレンを鳴らします。市民のみなさんの黙とうをお願いします。

■八月六日(水) 午前八時十五分(広島原爆の日)

■八月九日(土) 午前十一時二分(長崎原爆の日)

■八月十五日(金) 正午(終戦記念日)

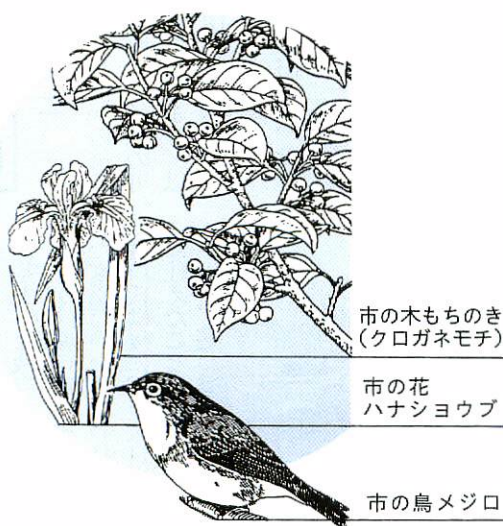
人	口	平成9年7月1日現在	( ) 内は前月比
総数	男	女	世帯数
57,477(+57)	27,620(+46)	29,857(+11)	18,811(+49)

### 8月の納税

固定資産税(2期分) 納期限 ● 9月1日  
国民健康保険税(2期分) (口座振替は8月29日引き落とし)

### 水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎ 84-2500  
● 水道の修繕はすべて上記へお申し込みください。



市の木もちのき(クロガネモチ)

市の花 ハナショウブ

市の鳥メジロ